



## ごあいさつ

小春六花、夏色花梨、花隈千冬という音声合成のキャラクターを制作している赤迫と申します。

小春六花たち3人は「小樽潮風高校Project」という企画において小樽の架空の高校「小樽潮風高校」に通っているという設定で、日々たくさんの方に、音声合成に限らない幅広いジャンルの創作をしていただいております。

その中には同人誌・イラストも含まれており、今回は小樽の皆様、小樽を訪れた皆様にご紹介したく、当企画を提案いたしました。

かつて小樽に在住していた小林多喜二・伊藤整といった文豪たちは、文芸同人誌を立ち上げていたことで知られています。

また一昨年、小樽文学館では小樽出身のゲーム愛好家、故・荒木聡さんが1980年代に制作されていたゲームを中心とした同人誌『おーるらうんど』を紹介する企画展示が行われていました。

そして今、小樽を舞台とした小春六花たちの創作を全国各地の皆さんにしています。

荒木聡さんが近年特別復刊されていた同人誌、『おーるらうんど 特別号』の表紙にも小春六花が描かれていました。

小樽出身者による、または小樽を舞台とした同人誌における文化の過去と現在の流れも感じていただける企画展示になるのではないかと考えています。

皆様、ぜひ、お楽しみください。

小樽潮風高校Projectメンバー / 合同会社TOKYO6 ENTERTAINMENT代表 赤迫竜一

小樽の架空の学校(小樽潮風高校)に通う3人の女の子、小春六花・夏色花梨・花隈千冬を題材とした創作ストーリー同人誌と彼女たちを描いたイラストを展示します。

同人誌もイラストも、今回の展示のための応募作品です。それぞれ、どんな世界観が描かれているのでしょうか。応募者の皆さんの力作をお楽しみに!

ここ小樽は昔から文学少年や青年の活動が盛んで、同人誌も数多く刊行されていました。今回は、明治・大正期の代表的な小樽の文芸同人誌も合わせてご紹介します。

小樽のゲーム愛好家、故・荒木聡さんのゲーム同人誌『おーるらうんど 特別号』も同時に展示!

その他、期間中の最新情報はQRコードからチェックしてね!



文学館公式X (@Twitter)